

# 令和3年度 課の運営方針書

消防本部 西消防署

## 1 課の運営方針

### 【課の使命】

車両、資機材、人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害による被害を軽減するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことにより、市民の安心・安全を守ります。

### 【課の目標】

- ①訓練施設を活用した警防力強化  
計画的な各種訓練を実施し、多様化する災害に備えるとともに、関係機関との連携強化を図ります。
- ②警防調査の推進  
消防活動困難地域(狭隘地域)を対象とした計画的及び継続的な調査を実施します。
- ③防火対象物への計画的な査察  
計画的な査察によって防火対象物の実態を把握するとともに火災危険を排除し、火災予防に努めます。
- ④交通安全教育の推進と運転技術の向上  
業務遂行時の安全運転の徹底と走行訓練による運転技術の向上を図ります。
- ⑤服務規律の遵守と接遇教育の推進  
公務員として服務規律の遵守と接遇に関する教育を推進し、業務を適正かつ円滑に遂行します。

### 【働き方改革による業務改善等の取組み】

働きやすい職場環境の整備や署所内における業務の相互補完を行うことでWLBを推進し、休暇の取得・時間外勤務の低減を目指します。

## 2 担当(係)の使命(果たす役割)

(警防1担当、警防2担当及び西部出張所)

警防関係:市内で発生する火災・救助・救急をはじめとする各種災害対応。山口県内及び全国(緊急消防援助隊)への災害派遣出動。各種災害対応訓練、車両及び資機材の点検・整備、消防水利の維持・管理、救急講習等応急手当普及啓発活動等を実施します。

予防関係:防火対象物の査察・立入検査、火災予防条例関係指導・届出処理、建築確認申請消防同意処理、消防用設備等着工審査・設置検査、火災予防広報、防火指導等を実施します。

## 3 課の経営資源

### (1) 課の体制

職員数	44人	うち	正職員	44人	・	会計年度 任用職員	0人	人件費	正職員	319,484千円	会計年度 任用職員	0千円
-----	-----	----	-----	-----	---	--------------	----	-----	-----	-----------	--------------	-----

※R1職員平均給与(7,261千円)ベース

※予算計上額

### (2) 事業規模

歳入予算額	千円	歳出予算額	千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	事業
-------	----	-------	----	-------------	---------	----

## 4 課の中期目標（優先順） 第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 1 消防力の充実	<p>○火災・救助・救急をはじめとする各種災害に対応するため、勤務日毎に各種災害を想定した消防訓練を実施するとともに、現場到着までの出場経路、車両進入の可否及び車両部署位置など、安全・確実・迅速に対応するため警防調査を積極的に推進し、消防力を向上させます。</p>
2	4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 2 救急救助業務の充実	<p>○救急業務は、医療機関の医師及び看護師が参加する講習会等の場を活用し、救急隊員として必要とされる知識習得に努めます。</p> <p>○救助業務は、訓練を通じて高度化する救助資機材の習熟をはじめ、様々な救助方法の検証を行い、統制された指揮での救助活動を実施します。</p>
3	4 安心安全 2 消防・救急体制の充実 3 予防体制の強化	<p>○予防業務は、市民を火災から守り危険を排除することが目的であるため、防火対象物の実態はもとより、計画的な定期査察によって消防用設備等の維持・管理状況を把握し、適正な指導を行い違反是正に取り組みます。</p> <p>○共同住宅など多数の市民が居住している防火対象物については、全戸の住宅用火災警報器の設置を推進します。</p>